

資料番号 : OM1-CA177-R02
2022年12月8日
電源開発株式会社

大間原子力発電所

地震・津波関係に係る検討状況及び今後の工程について

2022年12月8日

電源開発株式会社

地震・津波関係に係る検討状況について

大間の地震・津波関係の審議においては、「敷地地質」及び「地震動」を優先し、「津波」についても並行して説明する。

■ 敷地地質

- 「シームS-11の評価方針」は、シームS-11の第三条への適合性の評価方針について、12月中下旬に説明予定。
 - 「シームS-11の評価方針」は、工学的対処の方針を考慮の上、第三条への適合性の評価方針について説明予定。

■ 地震動

- 「敷地ごとに震源を特定して策定する地震動」のうち「内陸地殻内地震」は、第1073回審査会合（2022年9月16日）における「F-14断層」及び「奥尻3連動」の指摘事項に対するコメント回答並びに「隆起再現断層」の地震動評価方針を併せて12月上旬に説明予定。
 - 「F-14断層」は、基本ケース、不確かさケースの再整理を行い、説明予定。
 - 「奥尻3連動」は、3連動を選定したプロセス、破壊開始点の設定の考え方の再整理を行い、説明予定。
 - 「隆起再現断層」は、次回審査会合を経て評価方針が確定した後に、地震動評価の結果を説明予定。
- 「震源を特定せず策定する地震動」は、「敷地ごとに震源を特定して策定する地震動」に続き説明予定。
 - 「全国共通に考慮すべき地震動」のうち「標準応答スペクトル」は、模擬地震波の代表波の選定根拠等について検討済み。
 - 「全国共通に考慮すべき地震動」のうち「留萌支庁南部地震」は、敷地の地盤物性に応じた留萌基盤波の補正方法について検討済み。
 - 「地域性を考慮する地震動」については、検討対象地震の震源周辺と敷地周辺との類似性等について検討済み。

■ 津波

- 「地震による津波と地震以外の要因による津波の組合せ」について、1月以降に説明予定。
 - 「地震による津波と地震以外の要因による津波の組合せ」は、東北電力(株)東通地点へのコメントを踏まえた同一波動場に係る検討も含め、組合せ対象ケースの抽出、解析・検討を実施済み。
 - 「基準津波策定」は、「地震による津波と地震以外の要因による津波の組合せ」の審議に続き説明予定。

以 上

地震・津波関係に係る今後の工程について

12月8日現在

審査項目	内容	2021年度											2022年度									2023年度		
		11月	12月	1月	2月	3月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月			1月			2月			3月以降
															上	中	下	上	中	下	上	中	下	
共通	工程	今後の工程																						
	品質保証	審査資料の品質確保策の改善																						
敷地地質	シームS-11の評価	前回審査会合 (4/22) ★ シームS-11の評価方針※ (7/1) ★ シームS-11の第三条への適合性の評価方針 (7/15) ★ (10/6)(11/7) 現地確認(コア等確認) 現地確認 (10/24) ▼ ☆ シームS-11評価方針																						
	特定してのうち内陸地殻内地震	F-14断層・奥尻3連動による地震の地震動評価 (3/18) ★ (9/5)(9/16) ▼★ F-14断層の基本ケース、不確かさケースの再整理 奥尻3連動の3連動を選定したプロセス、破壊開始点の設定の考え方の再整理 隆起再現断層による地震の地震動評価方針 (11/5) ★ (10/6) ▼ ☆ 評価シナリオの策定及び震源モデルの検討 隆起再現断層による地震の地震動評価 (11/5) ★ 解析・地震動評価 隆起評価																						
地震動	特定せず	全国共通に考慮すべき地震動 (3/18) ★ 標準応答スペクトルの模擬地震波の代表波の選定根拠等の検討 留萌基盤波の補正方法の検討 地域性を考慮する地震動 (1/6) ▼ 検討対象地震の震源周辺と敷地周辺との類似性等の検討 標準応答スペクトル 留萌支庁南部地震 地域性を考慮する地震動																						
	地震性津波	前回審査会合 (12/24) ★ 地震性津波と非地震性津波の組合せ 地震性津波と非地震性津波の組合せの検討 線形足し合せ方法の検討 (東通のコメントを踏まえた同一波動場に関わる追加検討) 基準津波策定 基準津波の選定																						
津波	組合せ	津波組合せ ▼ ☆																						
	基準津波	基準津波 ▼ ☆																						

凡例
 ▼ : ヒアリング・現地確認 (▼: 実績)
 ☆ : 審査会合 (★: 実績)
 — : 検討期間

注) ヒアリング(▼)から審査会合(☆)までの期間は、直近の他地点を含む実績を考慮した期間を想定
 ヒアリングの同時申込は2枠までを考慮

※: シームS-11の評価については、方針の審査結果を踏まえ工程へ反映予定